

これまでの高槻・山崎(大阪府域)管内河川レンジャーの活動状況

本日の河川レンジャー運営会議では、現在、そして、これまでの河川レンジャーの活動を見つめ直しながら、次年度の新規河川レンジャー展開計画の策定に向けた議論をお願いします。

そのため、高槻・山崎(大阪府域)出張所管内で行われた活動の分析を基に、これからの活動に必要な河川レンジャーの活動内容や活動場所などについて議論をお願いします。

また、あわせて、さらに充実が必要な活動など、現河川レンジャーの次年度年間活動計画の作成に向けた助言・意見をお願いします。

1. 概況

高槻・山崎出張所(大阪府域)管内で河川レンジャーが活動を始めたのは平成 18 年度からであり、6年間で 199 回の活動が実施され、約 1 万人が活動に参加している。

河川レンジャー数は、平成 18 年に 1 名からスタートし、平成 20 年度からは 3 名～5 名の間で推移している。

活動分類からみると、最も多く行われている活動は、水辺の安全指導などの啓発その他に関する活動である。次いで、自然観察、環境保全に関する活動である。河川美化、広報、防災に関連する活動は回数が少ない。

参加者数が多いのは自然観察に関する活動であり、これまでに参加者は 3,000 名を超えている。これは当管内で行われた全活動参加者数の約 1/3 に相当する。

表 1 高槻・山崎出張所(大阪府域)管内河川レンジャー活動状況(平成 18 年度～23 年度)

年度	河川レンジャー数	回数 人数	河川美化	環境保全	啓発 その他	広報	自然観察	水利用等	防災	総計
18	1名	活動回数		1			3			4
		参加者数		48			107			155
19	1名	活動回数		2	1		8			11
		参加者数		126	83		554			763
20	3名	活動回数		7	3	2	12	2	1	27
		参加者数		276	282	82	718	114	24	1,496
21	4名	活動回数		4	30		8	3	1	46
		参加者数		245	806		478	227	28	1,784
22	5名	活動回数		9	26	5	3	5	5	53
		参加者数		334	355	1,753	114	252	275	3,083
23	5名	活動回数	2	10	20	1	17	6	2	57
		参加者数	137	304	464	22	1,030	302	61	2,298
合計		活動回数	2	33	80	8	51	16	9	199
		参加者数	137	1,333	1,990	1,857	3,001	895	388	9,601

*活動内容分類の定義は以下の通り。

分類名	内容
河川美化	河川清掃活動等の河川美化活動
環境保全	ヨシ原の保全活動、外来種対策等、淀川の環境保全に関する活動
啓発その他	全般的な河川の学習、啓発活動等
広報	河川レンジャーに関する説明や活動紹介、淀川に関する紹介など
自然観察	野鳥観察など、淀川の自然を観察する活動
水利用等	河川水の利活用や水質等を学ぶ活動等
防災	防災施設の見学や治水について学ぶ活動

注 1) 事務局の判断で分類

注 2) 重複する分野は主要な分野でカウント

活動内容ごとに活動回数の推移を見ると、環境保全、自然観察中心の活動からレンジャー数の増加にあわせて徐々に活動分野が増え、活動回数も増加を続けている。

参加者数では、平成 22 年度が最大となっている。この年は高槻市水辺百景展などの広報活動が行われており、参加者数増加につながっている。

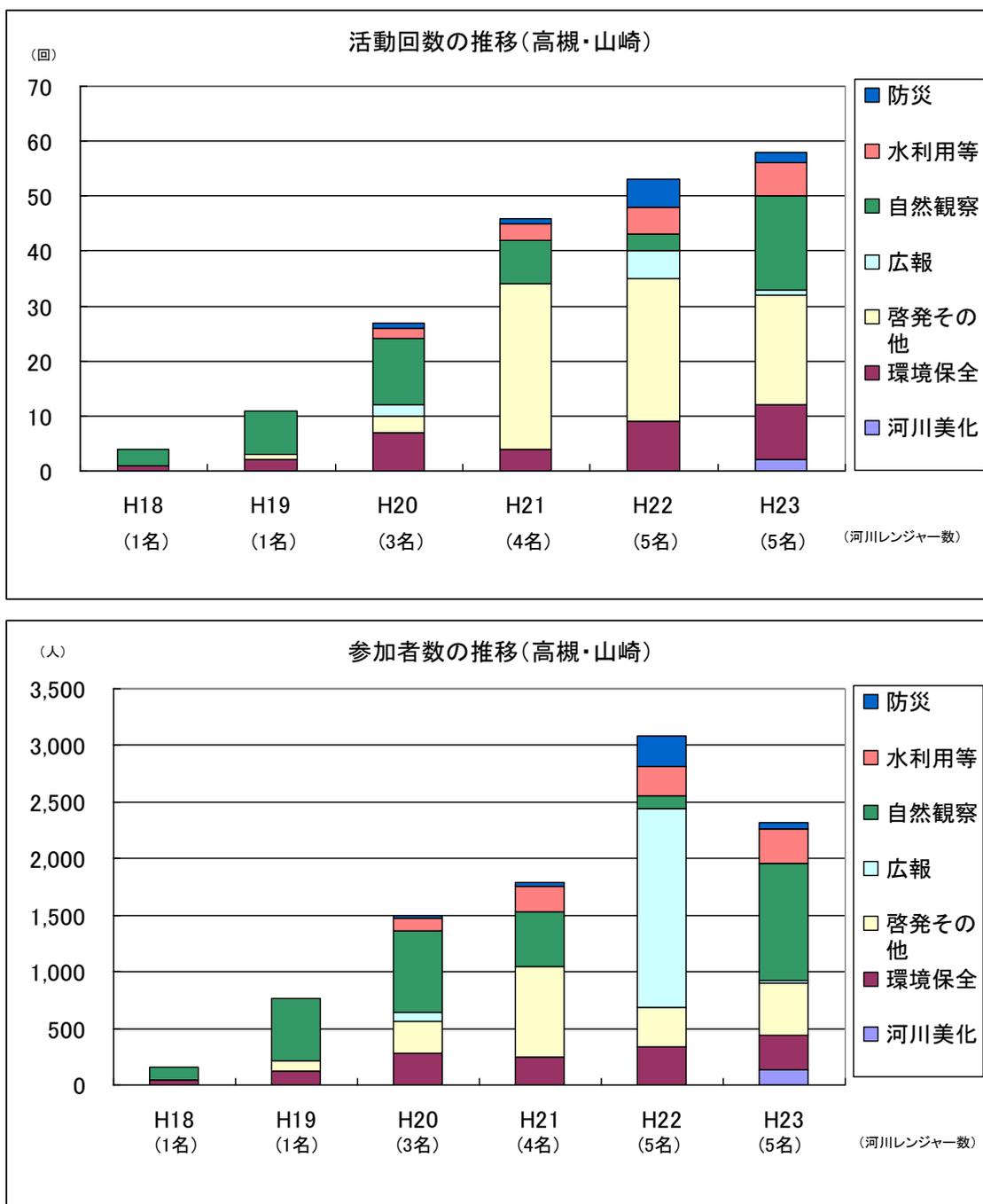


図1 高槻・山崎(大阪府域)管内 活動回数および参加者数の推移

2. 活動内容/回数

活動内容と回数の関係に着目すると、平成 21 年から水辺の安全指導などの啓発その他の分野の活動が数多く実施されるようになってきている。自然観察については、平成 22 年に回数が減少しているが、翌年には増加し、継続して取り組まれている活動である。環境保全については年々活動回数が増えてきている。

河川美化、広報の取り組みは少ない状況となっている。

表 2 高槻・山崎(大阪府域) 管内河川レンジャー活動回数 (平成 18~23 年)

年度	河川美化	環境保全	啓発その他	広報	自然観察	水利用等	防災	総計
18		1			3			4
19		2	1		8			11
20		7	3	2	12	2	1	27
21		4	30		8	3	1	46
22		9	26	5	3	5	5	53
23	2	10	20	1	17	6	2	57
合計	2	33	80	8	51	16	9	199

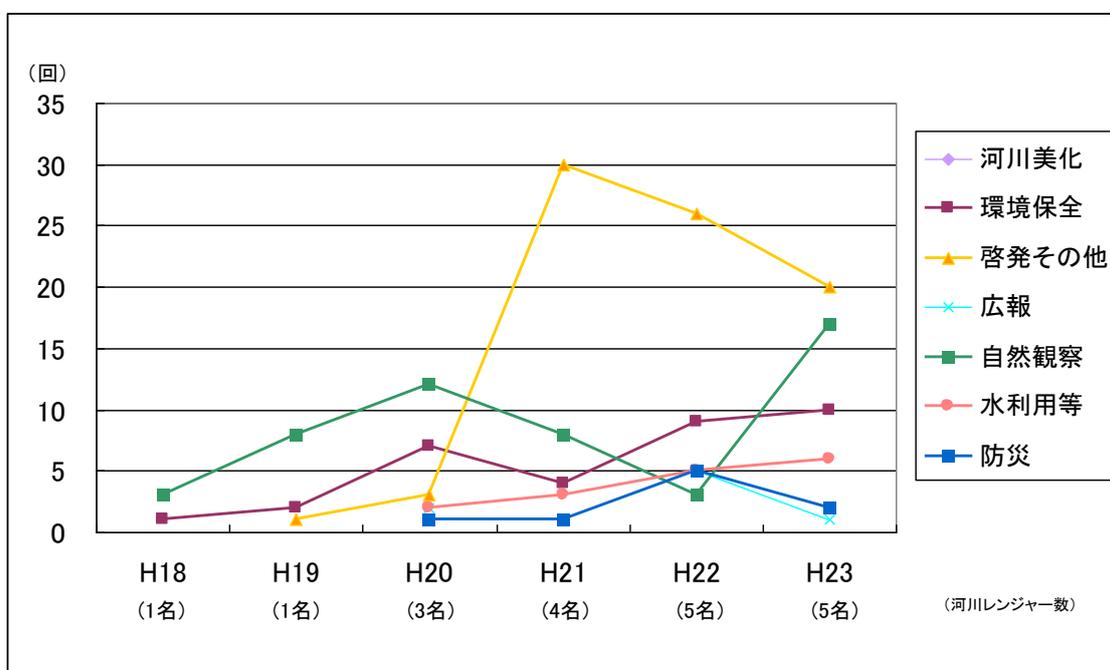


図 2 高槻・山崎 (大阪府域) 管内 河川レンジャー活動回数 (平成 18~23 年)

3. 活動内容/参加者数

活動内容と参加者数の関係に着目すると、自然観察については、6年間で増減はあるものの毎年多くの参加者があり、特に平成23年度は参加者数が1,000名を超えている。

防災に関しては土のうづくり体験などの活動により、平成22年度に参加者が数多くなっている。

平成21年度に活動回数が大きく増加した啓発その他の活動については、三島江切り下げに関する意見交換会や雅楽を含めた鵜殿に関する啓発活動などが活発に実施されたこともあり、参加者数が6年間で約2,000名となっている。

表3 高槻・山崎(大阪府域)管内河川レンジャー活動参加者数(平成18~23年)

年度	河川美化	環境保全	啓発その他	広報	自然観察	水利用等	防災	総計
18		48			107			155
19		126	83		554			763
20		276	282	82	718	114	24	1,496
21		245	806		478	227	28	1,784
22		334	355	1,753	114	252	275	3,083
23	137	304	464	22	1,030	302	61	2,298
合計	137	1,333	1,990	1,857	3,001	895	388	9,601

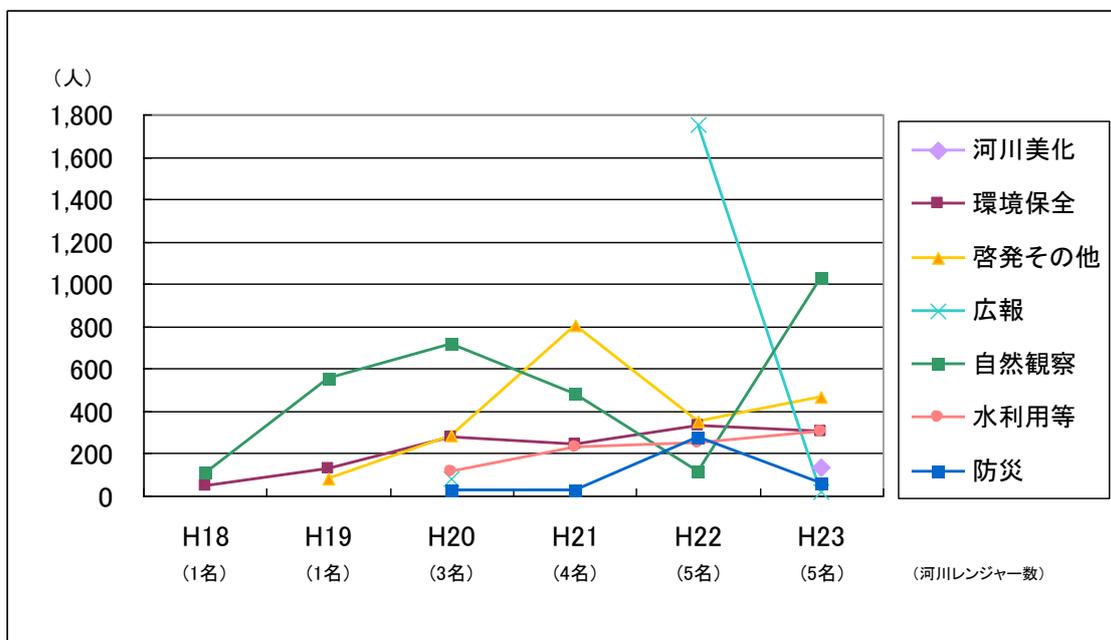


図3 高槻・山崎(大阪府域)管内 河川レンジャー活動参加者数(平成18~23年)

4. 活動内容/活動場所

これまでに高槻・山崎（大阪府域）管内で実施された活動を行政区で整理すると表4の通りである。

当管内では、高槻市において、自然観察を中心として最も活発に活動が行われている。摂津市では、啓発その他に関する活動が行われている。島本町での活動は行われていない。

表4 活動内容/行政区における活動回数（平成17～23年）

活動区域	種別	河川 美化	環境 保全	啓発 その他	広報	自然 観察	水利用 等	防災	総計
摂津市	回数			47	2			2	51
	人数			688	94			44	824
高槻市	回数	1	30	71	4	48	16	6	176
	人数	87	1,264	1,637	1,701	2,853	895	316	8,753
島本町	回数								0
	人数								0
その他の 地域	回数	1	3	3	2	3		1	13
	人数	50	69	190	62	148		28	547

* 複数区にまたがる活動はそれぞれの区でカウントしている



図4 高槻・山崎(大阪府域)管内 行政区

① 摂津市

摂津市では、平成 21 年以降、3 年間で 51 回の活動が実施されている。

淀川河川公園鳥飼地区を中心に、身障者を河川に誘導する活動や、水辺の安全指導などの、啓発その他の活動などが行われ、特に、高槻市域を含めた啓発その他の活動（水辺の安全指導）が活発に実施されている。

河川美化、環境保全、自然観察、水利用の分野については活動が行われていない。

表 5 摂津市における河川レンジャー活動一覧

活動区域	活動場所 分類	活動場所	年度	河川 美化	環境 保全	啓発 その他	広報	自然 観察	水利用 等	防災	総計
摂津市	河川区域内 ポイント	淀川河川公園 鳥飼下地区	22				1				1
		淀川河川公園 鳥飼地区	23			1				1	2
	河川区域内ポイント 集計					1	2			1	3
	河川区域内 コース	淀川(鳥飼上、下地区など)	22			2					2
			河川区域内コース 集計				2				2
	河川区域外 ポイント	鳥飼サービスセンター	23			1					1
			河川区域外ポイント 集計				1				1
	公共施設等	鳥飼サービスセンター 新鳥飼公民館	22			1				1	2
			23			1					1
	公共施設等 集計					2				1	3
摂津市 集計					6	2				2	10
高槻市 ・摂津市	河川区域内 コース	淀川(高槻市～摂津市)	21			7					7
		22			22					22	
		23			12					11	
河川区域内コース 集計					41					40	
高槻市・摂津市 集計					41					41	
総計					47	2				2	51

*活動場所の分類の考え方について（各区河川レンジャー活動一覧に適用）

河川区域内ポイント：河川区域内でポイント的に実施

河川区域内コース：河川区域内で複数ポイントで実施

河川区域外ポイント：河川区域外でポイント的に実施

河川区域外コース：河川区域内で複数ポイントで実施

河川管理施設：排水機場、大堰、水門など関連施設

学校：小中学校、大学など

行政庁舎等：区役所等

公共施設等：図書館、資料館等

②高槻市

高槻市では、平成 18 年以降、6 年間で 175 件の活動が実施されている。

河川区域内では、鶴殿ヨシ原、淀川河川公園三島江地区、芥川周辺などで数多くの活動が実施されている。

鶴殿ヨシ原では環境保全と自然観察に関する活動が、三島江地区では防災の取り組みと、三島江切り下げ地での啓発その他の活動が毎年のように開催されており、当管内の河川レンジャー活動の拠点となっている。

芥川周辺では、あくあびあ芥川を拠点とした自然観察や啓発その他の取り組みが数多く実施されている。津之江公園とその周辺や芥川下流でも自然観察活動が活発に行われ、ひとつの活動エリアを形成している。

また、個人の農地を活用した水利用の取り組みが行われているのも特徴のひとつである。

さらに、学校と連携した自然観察活動も盛んであり、地域の公共施設（公民館や生涯学習センターなど）を活用した取り組みも数多く行われるなど、地域に根ざしたレンジャー活動が実施されている。

また、摂津市域を含めた啓発その他の活動（水辺の安全指導）が活発に実施されている。

このように、高槻市は当管内の活動の中心地となっており、自然観察や環境保全、啓発その他の分野の活動が盛んに実施されている。一方、河川美化、広報に関する活動はあまり行われていない。

表 6. 1 高槻市における河川レンジャー活動一覧 (1)

活動区域	活動場所 分類	活動場所	年度	河川 美化	環境 保全	啓発 その他	広報	自然 観察	水利用 等	防災	総計	
高槻市	河川区域内 ポイント	鶴殿 ヨシ原	20		2			3		1	6	
			21		2		4			6		
			22		4					4		
			23		3		2			5		
		淀川河川公園 大塚地区	22								1	1
			三島江切り下げ地	21			19					19
		淀川河川公園 三島江地区	23			1						1
			22					1				1
		原大橋付近	23								1	1
			19							1		1
		摂津峡	23		1					1		2
			18			1						1
		あくあひあ芥川周辺	19							3		3
			20							3		3
			21							2		2
			23							2		2
		JR鉄橋周辺	23						1			1
		津之江公園周辺	19			1						1
			20							1		1
			21							1		1
	22				1						1	
	津之江公園	23			1						1	
	芥川大橋下流	18							1		1	
		19			1				2		3	
		20			1				2		3	
		21							1		1	
		22							1		1	
		23			1				2		3	
	鷺打橋上流	23			1						1	
	河川区域内ポイント 集計				1	20	19	1	33	3	77	
	河川区域内 コース	津之江公園～鷺打橋	18						1			1
			19					1			1	
		あくあひあ芥川～塚脇橋	19						1			1
			20			1						1
		三箇牧公民館～芥川河川 防災ステーション	20				1					1
		あくあひあ芥川～芥川河川 防災ステーション	21				1					1
		津之江公園～淀川合流点	21					1				1
			22							1		1
		鷺打橋～淀川合流点	22					1				1
		あくあひあ芥川～上ノ口	22						1			1
	芥川大橋下流～鷺打橋	23			1						1	
	芥川大橋下流～塚脇橋	23			1			1			2	
	河川区域内コース 集計					3	4		6		13	
	河川区域外 ポイント	高槻市柱本 個人農地	20							2		2
			21						2		2	
			22						5		5	
			23						5		5	
内が池	23						1			1		
河川区域外ポイント 集計								1	14	15		
河川区域外 コース	玉川橋団地～法光寺	21							1		1	
		23						1		1		
		23					1				1	
南大冠公民館～大塚切れ	23					1					1	
	23								2		3	
河川区域外コース 集計						1		2		3		
学校	高槻市立 如是小学校	19				1					1	
		20						2			2	
		23						1			1	
		高槻市立 桜台小学校	20						1			1
		23						1			1	
		高槻市立 清水小学校	20						1			1
		23						1			1	
高槻市立 三箇牧小学校	23						1			1		
高槻市立 土室小学校	23						1			1		
高槻市立 樫田小学校	23						1			1		
学校 集計						1		8		9		
公共施設等	高槻市生涯学習センター	20		2	1		1				4	
		21		2	2						4	
		22					1			2	3	
	三箇牧公民館	22		2							2	
	五領公民館	23		1							1	
	高槻市民会館	23				1					1	
三箇牧公民館	23				1					1		
公共施設等 集計					7	5	2		2	16		
高槻市 集計				1	30	30	3	48	16	5	133	

表 6. 2 高槻市における河川レンジャー活動一覧 (2)

活動区域	活動場所分類	活動場所	年度	河川美化	環境保全	啓発その他	広報	自然観察	水利用等	防災	総計
高槻市 ・枚方市 ・摂津市	河川区域内コース	淀川(高槻市～摂津市)	21			7					7
			22			22					22
			23			12					12
	河川区域内コース 集計					41					41
	河川区域外コース	淀川資料館～阪急高槻市駅	22							1	1
河川区域外コース 集計									1	1	
高槻市・枚方市・摂津市 集計									1	1	
総計				1	30	71	3	48	16	6	175

③島本町

島本町では、これまで河川レンジャーによる活動は行われていない。

④その他の地域の活動について

平成 18 年以降、当管内の河川レンジャーは、茨木市や枚方市などの周辺地域や、大阪市、京都市など広域にわたって活動を行っている。その活動回数は 14 回である。

活動内容を見ると、小学校と連携した自然観察や、淀川資料館での啓発その他の活動や広報活動、大阪歴史博物館での環境保全活動などが行われている。

表 7 その他の地域の河川レンジャー活動一覧

活動区域	活動場所分類	活動場所	年度	河川美化	環境保全	啓発その他	広報	自然観察	水利用等	防災	総計
枚方市	河川区域外コース	枚方宿～淀川資料館	22				1				1
			23								1
	公共施設等	中央流域センター 淀川資料館	20			1					1
			22		1						2
枚方市 集計			23		1	2	2				5
枚方市 ・八幡市 ・大山崎町	河川区域内コース	淀川資料館～天王山	23			1					1
			枚方市・八幡市・大山崎町 集計						1		
茨木市	河川区域内ポイント	安威川	23	1							1
			23					1			1
	学校	茨木市立 玉島小学校 茨木市立 西河原小学校	23					1			1
茨木市 集計				1				2			3
京都市 伏見区	河川区域外コース	三栖閘門資料館 ～月桂冠大倉記念館	21							1	1
			京都市伏見区 集計								
八幡市	河川区域内ポイント	淀川河川公園 背割堤地区	20				1				1
八幡市 集計							1				1
大阪市 中央区	公共施設等	大阪歴史博物館	22		1						1
			大阪市中央区 集計				1				
大阪市 都島区	公共施設等	都島区民センター	20		1						1
			大阪市都島区 集計				1				
大阪市 淀川区・ 東淀川区	河川区域内コース	十三干潟～柴島干潟	18					1			1
			大阪市淀川区・東淀川区 集計							1	
総計				1	3	3	3	3		1	14

5. 活動内容/河川レンジャー数

活動内容ごとの河川レンジャー数の推移は表 8 の通りである。

環境保全、自然観察、啓発その他の分野については、毎年複数の河川レンジャーによって活動が行われている。河川美化、広報、水利用については、取り組んだ河川レンジャーが少ない。

表8 高槻・山崎(大阪府域)管内における活動内容と河川レンジャー数(延べ人数)

年度	レンジャー数	河川美化	環境保全	啓発その他	広報	自然観察	水利用等	防災	総計
18	1名		1			1			2
19	1名		1	1		1			3
20	3名		2	2	1	2	2	1	10
21	4名		2	2		2	1	1	8
22	5名		3	2	3	2	1	3	14
23	5名	1	3	3	2	2	1	2	12
総計		1	12	10	6	10	5	7	49

注1) 河川レンジャーは複数分野で活動しているため、総計はレンジャー数と一致しない

注2) 複数の河川レンジャーで連携した活動は含んでいない

(参考)河川レンジャー全体の活動状況(平成15年～平成23年度)

平成15年度から活動を開始した河川レンジャーは、これまでの9年間で、約11万人の人々に淀川の魅力を伝えてきた。

河川レンジャーが27名と、最も多い平成22年度は活動回数が最も多くなっている。参加者数は水都大阪など大型イベントのあった平成21年度が最大となっているが、以降2年続けて減少している。

平成23年度の活動参加者数については、前年から約10,000人減少している。その原因として、河川レンジャーの数が27名から20名へ減少していること、広報活動の実施回数が減少したことなどが挙げられる。

表9 活動回数および参加者数一覧(平成15～23年度)

年度	レンジャー数		河川美化	環境保全	啓発その他	広報	自然観察	水利用	防災	総計
15	1名	実施回数	7		11		3			21
		参加者数	489		867		128			1,484
16	2名	実施回数	9		12	6	2			29
		参加者数	115		1,009	59	89			1,272
17	4名	実施回数	1	2	9	1	13		2	28
		参加者数	45	41	508	58	215		130	997
18	13名	実施回数	1	4	23	2	25	1	6	62
		参加者数	70	270	1,548	59	818	200	277	3,242
19	13名	実施回数	23	6	21	7	51		7	115
		参加者数	2,104	467	1,576	1,230	2,145		425	7,947
20	17名	実施回数	17	14	33	19	67	2	19	171
		参加者数	2,581	532	2,488	1,396	3,305	114	1,257	11,673
21	24名	実施回数	19	13	70	24	61	9	14	210
		参加者数	4,689	528	5,550	17,101	2,635	373	1,174	32,050
22	27名	実施回数	28	29	57	36	62	5	32	249
		参加者数	4,342	1,136	3,412	14,593	2,680	252	3,064	29,479
23	20名	実施回数	14	42	64	20	43	18	27	228
		参加者数	3,729	929	3,883	5,120	3,130	641	2,328	19,760
合計		実施回数	119	110	300	115	327	35	107	1,113
		参加者数	18,164	3,903	20,841	39,616	15,145	1,580	8,655	107,904

